# WLAN セキュリティ



## AAA Override について

WLAN の AAA Override オプションを使用すると、WLAN で Identity ネットワーキングを設定できます。これにより、AAA サーバから返される RADIUS 属性に基づいて、個々のクライアントに VLAN タギング、Quality Of Service (QoS)、およびアクセス コントロール リスト (ACL) を適用することができます。

## レイヤ 2 セキュリティの前提条件

同じ SSID を持つ WLAN には、ビーコン応答とプローブ応答でアドバタイズされる情報に基づいてクライアントが WLAN を選択できるように、一意のレイヤ 2 セキュリティ ポリシーが設定されている必要があります。使用可能なレイヤ 2 セキュリティ ポリシーは、次のとおりです。

- なし（オープン WLAN）
- WPA+WPA2

（注）
- 同じ SSID を持つ複数の WLAN で WPA と WPA2 を使用することはできませんが、同じ SSID を持つ 2 つの WLAN は、PSK を使用する WPA/TKIP と 802.1X を使用する Wi-Fi Protected Access（WPA）/Temporal Key Integrity Protocol（TKIP）で設定するか、802.1X を使用する WPA/TKIP または 802.1X を使用する WPA/AES で設定することができます。
- TKIP サポートが設定された WLAN は RM3000AC モジュールでは有効になりません。

- スタティック WEP（Wave 2 AP ではサポートされません）

# WLAN セキュリティの設定方法

## 静的 WEP レイヤ 2 セキュリティ パラメータの設定（CLI）

### 始める前に

管理者特権が必要です。

### 手順

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|---|---|---|
| ステップ 1 | **configure terminal**<br>例：<br>`Device# configure terminal` | グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。 |
| ステップ 2 | **end**<br>例：<br>`Device(config)# end` | 特権 EXEC モードに戻ります。また、Ctrl+Z キーを押しても、グローバル コンフィギュレーション モードを終了できます。 |

## WPA + WPA2 レイヤ 2 セキュリティ パラメータの設定（CLI）

### 始める前に

管理者特権が必要です。

手順

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|---|---|---|
| ステップ 1 | **configure terminal**<br>例：<br>`Device# configure terminal` | グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。 |
| ステップ 2 | **security wpa**<br>例：<br>`デバイス(config-wlan)# security wpa` | |
| ステップ 3 | **security wpa wpa1**<br>例：<br>`デバイス(config-wlan)# security wpa wpa1` | を有効にします。 |
| ステップ 4 | **security wpa wpa1 ciphers**［**aes** \| **tkip**］<br>例：<br>`デバイス(config-wlan)# security wpa wpa1 ciphers aes` | WPA1 暗号を指定します。次のいずれかの暗号化タイプを選択します。<br>• **aes**：WPA/AES のサポートを指定します。<br>• **tkip**：WPA/TKIP のサポートを指定します。 |
| ステップ 5 | **security wpa wpa2**<br>例：<br>`デバイス(config-wlan)# security wpa wpa2` | WPA2 を有効にします。 |
| ステップ 6 | **security wpa wpa2 ciphers aes**<br>例：<br>`デバイス(config-wlan)# security wpa wpa2`<br>例： | WPA2 暗号化を設定します。 |

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。